

人権の危機に警鐘

～国連人権理事会の役割～

講師：小野島吾郎氏

元国連人権理事会セクレタリー

上智大学国際関係研究所 客員研究員



人種差別、虐待、紛争、ヘイトスピーチ、ジェンダー不平等、気候変動・・・世界には人権を侵害する様々な局面があります。基本的人権、人間の尊厳を守るため、監視し、警告を発し、改善を促しているのが国連人権理事会です。

OHCHR（国連人権高等弁務官事務所）における国際的な人権問題や国連の人権保障制度に関する実務に携わり、国連人権理事会事務局長も務められた小野島吾郎さんに、国連人権理事会が行なっている活動や課題、日本への勧告などを解説していただきます。

[講師紹介]

1983年外務省入省後、国連に入り
1992年～国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）で30年勤務。技術支援基金の運営やプロジェクト、国連本部における人権主流化(human rights mainstreaming)などに携わり、
2010～2022年国連人権理事会事務局長を務めた。

2026年11月7日（土）

講演会：14時～15時30分（開場：13時30分）

懇親会：15時30分～16時30分

[会場] イグナチオ教会岐部ホール 3F 305室

主催：メディア・ソフィア会（旧マスコミ・ソフィア会）

後援：国連広報センター

[参加費] 講演会：無料 懇親会：1,500円（学生 無料）

[お申込み・お問合せ] contact@media-sophia.jp

お名前、卒年（学年）、学部学科、懇親会希望の有無をお知らせください。